

想定した経営類型 かんきつ專業大規模経営(露地、SS防除体系)

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模	経営・技術の特徴	
かんきつ專業 露地500a (SS防除体系) 経営耕地面積 自作地300a 借入地200a	人 3.0	極早生温州SS防除	a	
		早生温州SS防除	50	
		させぼ温州SS防除	200	
		普通・高糖度系温州SS防除	100	
		不知火等SS防除	100	
		合計	500	
経営目標	1 農業総収入	35,650 千円	4 1日当たり農業所得	14,390 円
	2 農業経営費	24,693 千円	5 1人当たり年間労働時間	2,031 時間
	3 農業所得	10,957 千円		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
建物・施設	作業収納舎99㎡	1	鉄骨組み	1	千円 4,704	24	千円 196
	貯蔵庫66㎡	1	コンクリートブロック	1	3,485	34	102
	園内道(単位10a)	50	2.0m幅、部分的に舗装	1	7,500	15	250
	計				15,689		549
農機具	スピードスプレー(SS)	1	4WD-4WS 1,000L 49kw	1	8,208	7	586
	トラック(普通)	1	2t積み	1	2,650	5	265
	トラック(軽)	1	0.35t積み、4WD	1	872	4	109
	小型運搬車	1	3kw、リフトダンプ付き	1	377	4	47
	動噴	1	5.0MPa、30L/min、ホース自動整列巻き付き	1	313	7	22
	肥料散布機	1	自走コンボスタスタ(傾斜地散布アタッチ)2.3Kw、ホッパー200kg	1	603	7	43
	ウッドチップパー	1	7.4kw、2.2㎡/h	1	1,231	7	88
	刈払い機	3	排気量20.9ml	1	132	7	9
	選果機	1	ドラム式、5連自動選果	1	354	7	25
	ローコンベア・コンテナダンパー・ボックス付昇降機	1	選果機の付属装置	1	1,010	7	72
コンテナハンドリフト	1	天井レール式(高さ5m以下)、標準30kgコンテナ用フック、ブレーキ付き	1	769	7	55	
計				16,519		1,323	

- 3-1. 技術体系(極早生温州):かんきつ専業 I に準ずる。(448~449ページ参照)
- 3-2. 技術体系(早生温州):かんきつ専業 I に準ずる。(450~451ページ参照)
- 3-3. 技術体系(させぼ温州):かんきつ専業 I に準ずる。(452~453ページ参照)
- 3-4. 技術体系(普通温州):かんきつ専業 I に準ずる。(454~455ページ参照)

※ただし、施肥および収穫出荷については下記のとおり

3-1. 技術体系(極早生温州)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
施肥	春肥	3/上	肥料散布機	1	1.5	1.5	配合肥料 (N:8%)100kg (N:8%)150kg	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肥料の種類、施肥量は土壌条件、樹勢などにより調整する。 ・ 年間の窒素施肥割合 春肥 40% 初秋肥 30% 秋肥 30% ・ 樹勢回復のため、秋肥は2回に分けて施用する。
	初秋肥	10/上						
	秋肥	10/下						
収穫出荷	収穫	9/下 ~ 10/中	トラック コンテナ ハンドリフト コンテナダンパー	3	16	48	コンテナ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出荷基準に達した果実から分割採取する。 ・ 適期収穫に努め、果実の取り扱いはていねいに行う。 ・ 家庭選果の徹底に努める。 ・ コンテナハンドリフトによる積み上げ積み下ろし作業の軽労化とコンテナダンパー活用による選果作業の省力化を図る。
	選別出荷			2	2	4		

3-2. 技術体系(早生温州)

3-3. 技術体系(させぼ温州)

施肥	春肥	3/中	肥料散布機	1	1.5	1.5	配合肥料 (N:8%)90kg (N:8%)70kg (N:8%)100kg	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肥料の種類、施肥量は土壌条件、樹勢などにより調整する。 ・ 年間の窒素施肥割合 春肥 35% 夏肥 25% 秋肥 40% ・ 隔年結果を防止するためにも肥料は適量施用する。
	夏肥	5/下						
	秋肥	11/下						
収穫出荷	収穫	10/下 ~ 11/下	トラック コンテナ ハンドリフト コンテナダンパー	3	18	54	コンテナ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適期収穫に努め、果実の取り扱いはていねいに行う。 ・ 家庭選果の徹底に努める。 ・ コンテナハンドリフトによる積み上げ積み下ろし作業の軽労化とコンテナダンパー活用による選果作業の省力化を図る。
	選別出荷	11/下 ~ 12/中		2	3	6		

3-4. 技術体系(普通温州)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
施肥	春肥	3/下	肥料散布機	1	1.5	1.5	配合肥料 (N:8%)110kg (N:8%)80kg (N:8%)120kg	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料の種類、施肥量は土壌条件、樹勢などにより調整する。 ・年間の窒素施肥割合 春肥 35% 夏肥 25% 秋肥 40% ・隔年結果を防止するためにも肥料は適量施用する。
	夏肥	5/下						
	秋肥	11/下						
収穫出荷	収穫	12/上 ~ 12/下	トラック コンテナ ハンドリフト コンテナダンパー	3	18	54	コンテナ	<ul style="list-style-type: none"> ・適期収穫に努め、果実の取り扱いはいねいに行う。 ・貯蔵に当たっては3%程度の予措を行う。 ・貯蔵温度5~6℃、湿度80%を目標とする。 ・入庫量は250~300kg/m²とする。 ・家庭選果の徹底に努める。 ・コンテナハンドリフトによる積み上げ積み下ろし作業の軽労化とコンテナダンパー活用による選果作業の省力化を図る。
	選別出荷	12/中 ~ 2/上						

3-5. 技術体系(不知火等):かんきつ専業 I に準ずる。(456~457ページ参照)

※ただし、施肥および収穫出荷については下記のとおり

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
施肥	春肥	3/上	肥料散布機	1	2	2	配合肥料 (N:12%)70kg (N:12%)70kg (N:12%)40kg (N:12%)40kg	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の施肥割合 春肥 :30% 夏肥 :30% 初秋肥:20% 秋肥 :20% ・施肥量が多すぎると細根が少なくなり、酸含量の減少が遅れるので注意する。
	夏肥	5/下						
	初秋肥	9/上						
	秋肥	10/下						
収穫出荷	収穫	1/中 ~ 2/下	トラック コンテナ ハンドリフト コンテナダンパー	2	22	44	コンテナ	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫前に雨が多いと水腐れ症が発生するので、収穫時が多雨の年は早めに収穫する。 ・収穫時に凸部分にハサミ傷をつけないよう注意する。 ・コンテナの底にマットを敷き、果実は転がさないよう注意する。 コンテナハンドリフトによる積み上げ積み下ろし作業の軽労化を図る。
	選別出荷	3月						

4. 品目の作付体系

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
極早生温州 (マルチ)	土壤改良	せん定	春肥	↑ 草刈	※ ↓	↓ 摘果 マルチ被覆 摘果			☆	◆◆◆◆ 初秋肥 秋肥		
早生温州 (マルチ)	土壤改良	せん定	春肥	↑ 草刈	※ ↓ 夏肥	↓ 摘果 マルチ被覆 摘果			☆		◆◆◆◆ 秋肥	
させぼ温州 (マルチ)	土壤改良	せん定	春肥	↑ 草刈	※ ↓ 夏肥		マルチ被覆 摘果		☆		◆◆◆◆ 秋肥	
普通・高糖度系温州 (マルチ)	土壤改良	◆ せん定	春肥	↑ 草刈	※ ↓ 夏肥	↓		マルチ被覆 摘果		☆		◆◆◆◆ 秋肥
不知火等 (露地)	■	土壤改良	◆ せん定 春肥	↑ 草刈	※ ↓ 夏肥	↓ 摘果			扶つり 秋肥	☆		

注) 生育ステージ記号 ↑:発芽 ※:開花 ↓:生理落果 ☆:着色始め ■:収穫 ◆:出荷

5. 作業別・旬別労働時間(10a当たり時間)

1) 極早生温州(SS防除)

品目・作業/月・旬	1	2	3	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
間伐せん定		2	3	3	2									16
土壌改良	4	3							1.5					7
草生管理				2		2				1.5				9
マルチ管理				6		0.5					1			7.5
施肥			0.5								0.5			1.5
防除					0.5	1	1	1	0.5	1	0.5		0.5	8.5
摘果							10	5	10	5				40
収穫出荷										16	18			52
その他			2	2	2	1		2		2				15
計	0	0	4	5	3	3	3.5	5	4	4.5	2	1	0	8
月計	4	11	12.5	12.5	7.5	11.5	19.5	9	12	31	38	0	0	156.5

2) 早生温州(SS防除)

品目・作業/月・旬	1	2	3	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
間伐せん定		2	3	3	2									16
土壌改良	4	3												7
草生管理				2		2			1					8
マルチ管理				6		0.5		0.5				1		7.5
施肥			0.5									0.5		1.5
防除					0.5	1	1	1	0.5	1	0.5		0.5	8.5
摘果							10	5	10	5				40
収穫出荷										6	18	27	9	60
その他			2	2	2	1		2		2				15
計	0	0	4	5	3	3	5.5	4	4.5	2	1	0	5	18
月計	4	11	12.5	12.5	7.5	14	14	9.5	16.5	9	11.5	55.5	0	163.5

3) させぼ温州(SS防除)

品目・作業/月・旬	1	2	3	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
間伐せん定		2	3	3	2									16
土壌改良	4	3												7
草生管理				2		2			1					8
マルチ管理				6		0.5		0.5				1		7.5
施肥			0.5									0.5		1.5
防除					0.5	1	1	1	0.5	1	10	0.5	0.5	8.5
摘果										10	5			40
収穫出荷												27	27	60
新梢管理						2		2						4
その他			2	2	2	1		2		2				15
計	0	0	4	5	3	3	5.5	4	4.5	2	3	0	0.5	28.5
月計	4	11	12.5	12.5	9.5	14	4	14.5	6.5	19	10	29	33.5	167.5

4) 普通温州(SS防除)

品目・作業/月・旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																
間伐せん定		2	3	3	2								16																
土壌改良	4	3		2			2		1				7																
草生管理					6		0.5				1		7.5																
刈草管理					0.5							0.5	1.5																
施肥				0.5			1	0.5	1		0.5		8.5																
防除					1	1	1	5	10	5			35																
摘果												18	62																
收穫出荷	1	2	1		2		2						15																
その他													0																
計	1	2	6	6	3	3	3	5	4.5	2	1	2.5	0	7.5	3	0	1	3	0	1	5	5	0	1.5	18.5	27	11.5	161.5	
月計	9									10	4	6	13	19	10	1.5	57												

5) 不知火等(SS防除)

品目・作業/月・旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																				
間伐剪定		2	8	3	2								15																				
土壌改良		3	3										9																				
草生管理				2			2						10																				
施肥					0.5				0.5				2																				
防除		0.5			0.5		1	0.5	1				8																				
摘果						10	10	5	4				49																				
枝つり									2	2			6																				
收穫出荷	6	28	10	4	4								56																				
貯蔵	1	1	1	1	1								6																				
茅かき					2	1							4																				
その他					2	2	1	2				2	15																				
計	0	7	29	11.5	10	16	11.5	4	2	4.5	2	3	3.5	0	1.5	12	12	5	3	0	8	7	5	5.5	7.5	4	2	2	0	0.5	0	0.5	180
月計	36									5	29	11	17.5	13.5	2.5	0.5	0.5																

6. 総労働時間

品目・作業/月・旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																								
総労働時間	10	55	345	293	185	215	195	260	195	225	100	80	150	150	263	125	110	368	180	10	305	198	175	300	255	285	243	203	240	190	360	545	513	455	330	135	8,243
うち家族労働	10	55	178	192	185	192	195	213	195	206	100	80	150	150	213	125	110	206	180	10	213	192	175	192	206	206	206	203	213	190	206	206	206	199	199	135	6,092
うち雇用労働(常時)	0	0	167	101	0	23	0	47	0	19	0	0	0	0	49.5	0	0	162	0	0	92	5.5	0	108	49	79	36.5	0	27	0	154	206	206	199	131	0	1,860.5
うち雇用労働(臨時)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	133	101	57	0	0	290.5